

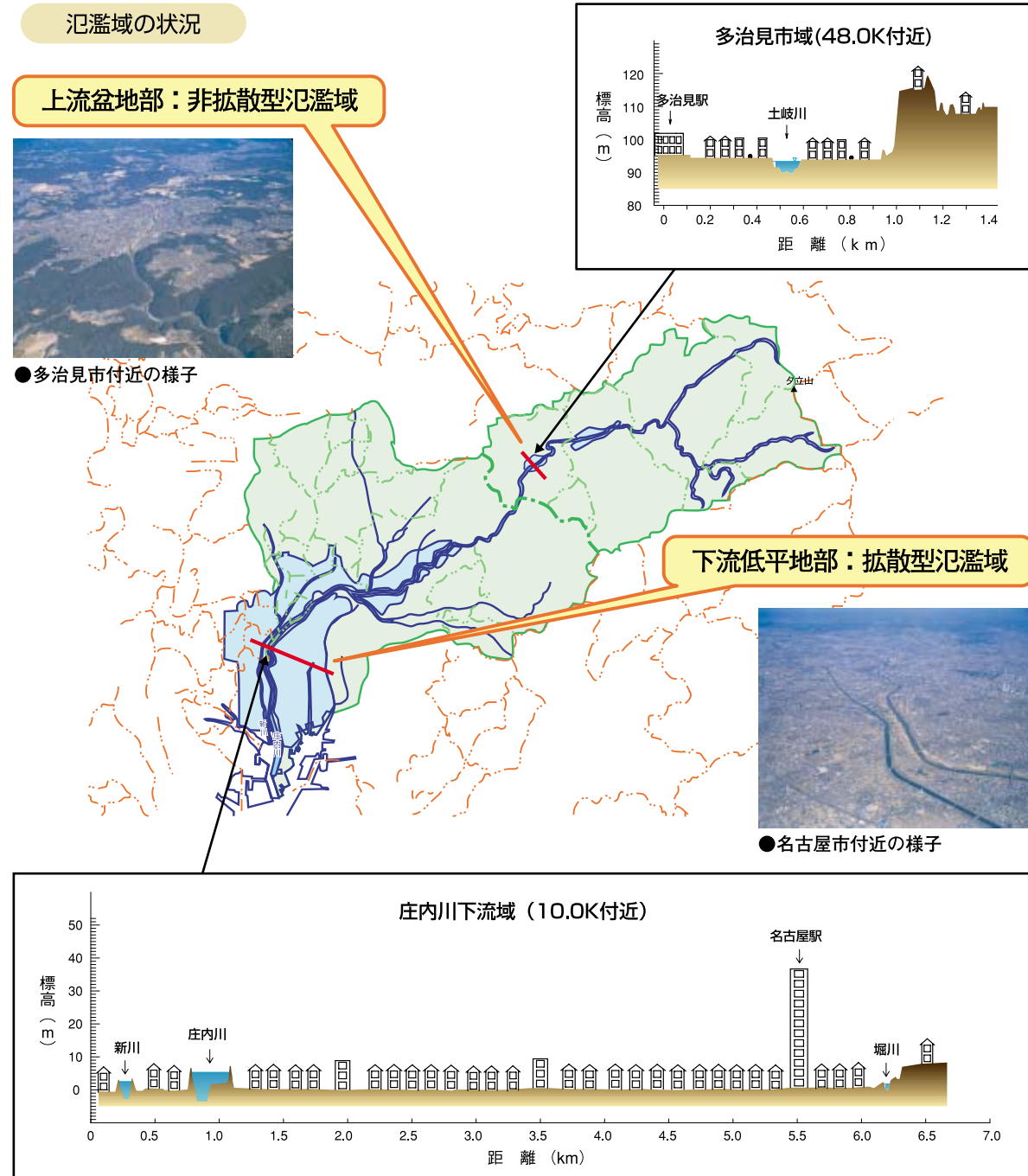
3-1 治水上の課題

(1) 都市河川にふさわしい安全性を備える

① 流域の状況に合わせた河川整備を行うこと

土岐川庄内川は、河道断面が不足していたり、堤防や樋管の耐震対策などが必要なことから、多くの市民の生命、財産を守っていく上では、まだまだ安全とは言えません。

市街化が進み、整備に必要な用地取得は困難ですが、降雨や流出特性、地形や氾濫形態の違いもふまえながら、安全で安心な暮らしを支える河川整備を進めていく必要があります。



② 沿川が一体となった防災システムを作ること

洪水や地震災害に備えて、沿川自治体の防災拠点、緊急輸送路、港湾と緊急河川敷道路とのネットワークづくりや、正確な情報を円滑に収集伝達できるような施設整備、体制づくりが重要です。

また、流域内での雨水流出抑制、雨水排水ポンプの運転調整についてのルールを市町や下水道管理者などと定めて、有事の際の対応について住民にも理解を求めていく必要があります。

